

九州旅客鉄道株式会社  
代表取締役社長 青柳 俊彦 様

# 要 望 書

令和2年10月

宮崎県鉄道整備促進期成同盟会

貴社におかれましては、日頃から、鉄道の安全で安定的な運行等に御尽力いただき、心から感謝申し上げます。

鉄道は、県民の生活や地域の産業を支える社会基盤としてだけでなく、地球環境問題や高齢化社会にも対応した交通機関として、今後さらに、その役割が重要になってまいります。

県民の鉄道に対する期待に応えながら、鉄道の維持、充実に努めていくためには、貴社と地元が連携して、利用促進、沿線の活性化に努めていくことが必要であると考えております。

つきましては、当県のおかれている状況を御拝察の上、以下の事項について特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

- 1 鉄道利用者の安全・安心の確保及び鉄道の利便性・快適性の向上
- 2 減便等の見直し、及び利便性に重大な影響を及ぼす事項に関する沿線自治体への早期情報提供及び事前協議の実施
- 3 全ての線区別収支の公表
- 4 吉都線、日南線の路線の維持及び活性化
- 5 日豊本線の高速化等による速達性の向上
- 6 ICカード「SUGOCA」の利用エリア拡大
- 7 駅、車両のバリアフリー化の推進
- 8 東九州新幹線の整備計画路線への格上げ
- 9 九州新幹線効果の宮崎県への波及のためのアクセス改善

令和2年10月27日

宮崎県鉄道整備促進期成同盟会

会長 宮崎県知事 河野 俊嗣

## 1 鉄道利用者の安全・安心の確保及び鉄道の利便性・快適性の向上

鉄道は、安全性や定時性に優れ、毎日の通勤・通学の手段として県民の生活に密着した交通機関であることから、県民から多くの要望をいただいております。

中でも、一部区間で実施されております、特急ワンマン化につきましては、ホームミラー等による確認の徹底や避難誘導訓練等を実施いただいているところでありますが、障がい者をはじめ、不安を感じる県民の声が寄せられているところであり、引き続き安全・安心確保対策について、御配慮をお願いします。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止も踏まえた混雑の激しい通勤・通学時間帯の増便・増結や幹線と地方交通線、特急列車と普通列車との接続などにも配慮した利便性の高いダイヤ編成、車両のリニューアル、駅施設やレール・枕木の改善整備による快適性の向上についても、御配慮をお願いいたします。

## 2 減便等の見直し、及び利便性に重大な影響を及ぼす事項に関する沿線自治体への早期情報提供及び事前協議の実施

平成30年春ダイヤ改正においては、減便や車両の減、運行区間の短縮、始発列車の時刻の繰り下げ、最終列車の時刻の繰り上げ等が実施されたところですが、これに伴い、沿線住民の日常生活に大きな影響が生じております。

具体的には、車両減に伴う混雑や、長い待ち時間、部活動終了時間の切り上げ、最寄始発駅までの保護者の送迎などの事例も報告されております。

このような状況を踏まえ、一部の便において、車両の増結、臨時便運行などの対応がなされたところではありますが、沿線住民の声を真摯に受け止めていただき、削減された便や変更された運行区間に関する見直しをはじめ、鉄道利用者の利便性の維持・向上について、これまで以上に柔軟な御対応をお願いします。

また、ダイヤ改正や車両数の削減等、利用者の利便性に重大な影響を及ぼす事項については、早い段階で情報提供を行い、事前に沿線自治体と協議する機会を設けていただきますようお願いいたします。

### 3 全ての線別収支の公表

本年5月、輸送密度2千人未満に限定した2018年度の線別収支が初めて公表され、8月にも2019年度の線別収支が公表されたところでもあります。

8月公表分における本県関係では、日南線、吉都線をはじめとした4路線6区間が赤字であるなど、極めて厳しい状況にあると受けとめております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、鉄道需要が大きく落ち込んでいる中での公表は、平成30年春のダイヤ改正による大幅な減便等を想起させ、これを契機に、今後、減便又は廃線につながることを強く懸念しているところです。

このため、貴社におかれましては、今回の公表の趣旨である「路線の状況を共有し、その維持・活性化に向けた取組を地域と共に進める」との考え方を踏まえ、公共交通事業者としての責務を着実に果たしていただきますようお願いいたします。

また、これまで、輸送密度2,000人未満の線区のみを公表しているところではありますが、不採算路線を含めた鉄道ネットワークを維持するため国鉄改革の際に設けられた経営安定基金の趣旨や、完全民営化に当たって取り崩された経緯を踏まえ、輸送密度の低い線区のみを切り取って公表するのではなく、全ての線別の収支を明らかにし、鉄道ネットワーク全体で考えていただきますようお願いいたします。

なお、利用促進の取組に当たっては、車両、人員の提供に加えて、費用の負担など全社を挙げて取り組んでいただくとともに、前例にとらわれない柔軟な対応をお願いいたします。

### 4 吉都線、日南線の路線の維持及び活性化

吉都線及び日南線は、通勤・通学など地域の重要な交通手段として不可欠であり、沿線地域とともに利用促進や活性化に努めながら、維持・充実を図っていく必要があると考えております。

吉都線においては、関係自治体が沿線の特色を生かした魅力の再構築、地域ストーリーづくりなどに積極的に取り組んでおり、また、日南線においては、観光特急「海幸山幸」が、貴社と地元が一体となった取組により、高い人気を維持し続けているところです。

県としましても、沿線自治体と一体となって、引き続き輸送密度の向上に努めていきたいと考えておりますので、今後とも、地元自治体との十分な意見交換をはじめ、県外などからの誘客や地域の交通手段としての利便性等の向上に御尽力をいただきますようお願いいたします。

## 5 日豊本線の高速化等による速達性の向上

日豊本線は、東九州地域における幹線鉄道であり、地域の産業振興や活性化はもちろん、九州が一体となった発展を図る上でも、大変重要な交通基盤であります。

しかしながら、佐伯～延岡間及び宮崎～鹿児島間の高速化については、未だ具体化に至っておらず、また、日豊本線の大分以南は全線単線であり、ダイヤ編成上の制約が多く、利用者の利便性の確保が十分に行えない状況にあります。

日豊本線高速化については、平成29年度、整備実現に向けた検討の基礎資料等とするため、時間短縮効果や整備費用などを調査したところですが、現行車両ベースでは、大分から宮崎の区間で5分程度、宮崎から鹿児島間の区間で10分程度の短縮効果を得るための費用は、いずれも60億円前後になるとの試算結果でありました。

日豊本線の重要性、及び九州の西側に比べ高速化等の整備が大きく遅れている現状を踏まえ、速達性の向上が図られますよう、特段の御配慮をお願いいたします。

## 6 ICカード「SUGOCA」の利用エリア拡大

貴社のICカード乗車券「SUGOCA」については、平成27年度に宮崎地区の12駅に導入いただきましたことから、県内の利用客はもとより、県外からの観光客等の利便性が大いに向上したところです。

しかしながら、利用可能なエリアが宮崎地区のみでは、導入効果が限定的なものにとどまるものと考えております。

「SUGOCA」の利用エリアの拡大は、県内外の利用客の利便性の向上に寄与し、県全体における鉄道利用者のさらなる増加につながるものと考えておりますので、県内の利用エリアを拡大していただきますようお願いいたします。

## 7 駅、車両のバリアフリー化の推進

本格的な高齢社会の到来や障がい者の社会参加の要請を背景に、高齢者や障がい者が鉄道を安全かつ円滑に利用できるようにするためには、駅や車両のバリアフリー化は不可欠であります。

沿線市町からの要望が寄せられているバリアフリー化未整備の駅及び車両につきまして、バリアフリー化を積極的に推進していただきますようお願いいたします。

## 8 東九州新幹線の整備計画路線への格上げ

新幹線は、安全でエネルギー効率に優れた環境にやさしい大量輸送交通機関であるとともに、国土の均衡ある発展と地域の活性化の基礎となる高速交通基盤です。

西九州においては、九州新幹線鹿児島ルートと西九州新幹線西九州ルートにおける武雄温泉―長崎間の開業時期が2022年秋頃となる見通しと発表されるなど、高速鉄道網の整備が着実に進んでいる一方で、東九州は、東九州新幹線が昭和48年に基本計画に決定されて以来、まったく進展がなく、高速鉄道網の東西格差が著しく拡大している状況にあります。

このため、平成27年度、東九州の4県1市で構成する東九州新幹線鉄道建設促進期成会として、時間短縮効果や経済効果、整備費用など、東九州新幹線の具体的なイメージを得るための調査を実施したところです。

九州の一体的浮揚を図るためには、新幹線ネットワークを形成することにより、九州域内の都市相互間はもとより、九州外の地域との時間距離を大幅に短縮し、広域的な交流の拡大を通じて経済の発展及び地域の振興を図ることが必要です。

このため、東九州新幹線の整備計画路線への格上げについて、御理解と御協力をお願いします。

## 9 九州新幹線効果の宮崎県への波及のためのアクセス改善

九州新幹線鹿児島ルートは、九州と関西・中国地方との交流の活発化に大きく貢献しております。

この九州新幹線の開業効果を新幹線が通っていない当県にも波及させるためには、新幹線停車駅とのアクセス改善が必要であると考えます。

つきましては、鹿児島中央駅～宮崎駅における特急の増便・高速化について御配慮をお願いいたします。